

ひろしま 農林業振興 ニュース

第17号 H13 7/1 財団法人 広島市農林業振興センター Hiroshima City Agriculture and Forestry Promotion Center 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号 TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149 http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/

“ひろしまそだち”直売所 63か所に拡大!



“ひろしまそだち”が登場して7年がたちました。新鮮でおいしい広島産の農産物を求める市民ニーズは年々高まり、生産者の顔が見える直売所はどこも人気です。市内では平成6年に約30か所だった直売所が、現在では63か所を数えるほどに増え、市民と生産者の交流の場が広がっています。



市内の農産物直売所に出荷する農家約250名が、初めて一堂に会して、生産者大会を開きました。

(平成13年3月29日・安佐南区民文化センター文化ホールにて)



フラワーフェスティバル(5月3・4・5日)に初出店して大盛況

本センターでは、市内の63か所の直売所を紹介する“ひろしまそだち”農産物直売所ガイド『新鮮!おいしい!“ひろしまそだち”が買える店』(B6版・63P)を作成し、無料配付を行っています。

詳しくは、指導課までお問い合わせください。



☎振興部指導課農産係(☎845-4376)

農産物直売所ガイド

多様な担い手の育成

4名が自立、4名が研修中

“ひろしま活力農業” 経営者育成事業

本市農業の将来を担う若い農業経営者を育成するため実施している“ひろしま活力農業” 経営者育成事業も5年目に入りました。これまでに4名が農家として自立し、毎日コマツナなど軟弱野菜を市場出荷しています。

今年度は、第3期生2名が白木町で実地研修に入り、また新たに4期生として新田康彦さん(40)と西尾哲也さん(29)が、4月から本センターの研修ほ場で基礎技術の習得に励んでいます。

新田さんは、家族3人で東京から広島に引っ越してこられました。また、西尾さんは、鳥取から広島にUターンで帰ってこられ、それぞれ野菜の専業経営を目指しています。



新田康彦さん



西尾哲也さん



コマツナの収穫実習に励む研修生

※ただいま第5期研修生を募集中(締め切りは8月31日まで)

広島市初の家族経営協定・4農家が締結

農業経営の発展と健康で幸福な暮らしのために、家族間のルールを定めた「家族経営協定」を市内の4農家が締結しました。

家族農業経営の将来展望を切り開くよう、家族構成員の一人一人が自らの意見を出し合い、役割分担や就業条件などを取り決めた「家族経営協定」を作成し、平成13年3月14日に、県・市など関係機関の立会いのもと、調印式が行われました。

家族の役割を明確にし、やりがいのある農業経営が推進されるよう、本センターも積極的に支援してまいります。



家族経営協定調印式

平成13年3月・広島市認定農業者協議会が設立

認定農業者制度は、年間農業所得1千万円を目標に、農業経営の改善を進めようとする農業者が作成した計画を市長が認定し、この計画が達成されるよう支援する制度です。

このたび、広島市内に在住する認定農業者(51名:平成13年3月31日現在)が、会員相互の連携強化を図ることを目的として、「広島市認定農業者協議会」を結成しました。結成を記念して開かれた講演会では、講師の平岡豊先生(マーケティング・プロデューサー)から「都市近郊農業は鮮度と味を前面に出すべきであり、“ひろしまそだち”の取り組みに大いに期待している」と激励をいただきました。



認定農業者研修・意見交換会における講演会

振興部指導課構造改善係 ☎845-4347



生産性の高い農業の確立

スーパーカウへ牛群改良すすむ

こども村で飼養されているスーパーカウ（高能力乳用牛）から生まれた雌牛は、現在、市内7軒の農家で飼養され、良質の牛乳をたくさん生産しています。

今後は、このスーパーカウ産子からも受精卵を作り、牛群改良を加速度的に進めていくこととしています。



安佐町毛利さん飼養のスーパーカウ産子

☎ 振興部指導課畜産係 (☎845-4378)

約380haをほ場整備

本センターでは、農業振興地域で農業生産基盤の整備を図るため、ほ場整備を進めています。これまで約380haを整備し、効率的な農業ができるようになりました。

☎ 建設部基盤整備課 (☎845-4348)



ほ場整備前（白木町松山地区）



ほ場整備後（白木町松山地区）

個性ある農業の展開

試験ほ場に来てください!

本センター試験ほ場では、コマツナ・ハウレンソウの品種比較やアスターなど切花展示のほか、昨年市場関係・消費者に好評だった、“うまいんじゃけえ” 個性派野菜開発事業の中で取り組んでいる、おいしい水ナスや黄ニンジンなど、様々な品目の試験栽培を行っています。

収穫期には試食も可能です。適期をお問い合わせのうえ、ぜひ試験ほ場に見学にお越しください。

☎ 振興部園芸課 (☎842-4421)



コマツナの品種比較

「農」ある住みよい地域づくりの推進

新たに井原高南地区で実施（農業集落排水事業）

本センターでは、農村部の生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、農業集落排水事業に取り組んでいます。これまでに、6地区で処理施設の供用を開始し、現在2地区で供用開始に向け工事を行っています。

平成13年度、新たに白木町井原高南地区で事業実施することになりました。今年度は測量・設計等を行い、来年度から管路工事を行う予定となりますので、ご協力をお願いいたします。

☎ 建設部環境整備課 (☎845-4349)



白木町井原高南地区

市民と農業・農業者との交流

ガーデニング花苗・続々登場

ゴールデンウィーク中、安佐町の花みどり公園で開催された「シャクナゲ春のふれあいまつり」で、広島では、まだ目新しい花苗13品種を展示しました。

これは、本センターが進めているガーデニング推進事業の一つとして、広島で生産された新しいガーデニング素材の展示を、JA広島安佐花木部会と共同で行ったもの。株いっぱいピンクの小さな花を咲かせた「イワカラクサ」や「コマチリンドウ」などが人気で、訪れた来園者はガーデニングのニューフェイスたちに見入っていました。

この展示に合わせ、ガーデニング素材についてのアンケート調査を行いました。この結果を参考に今後も消費者ニーズに合った多様な素材を提供・生産していくよう、栽培技術の開発に取り組んでいきます。

☎振興部園芸課(☎842-4421)



ピンク色のイワカラクサ



花みどり公園 ガーデニング展示コーナー

値し物ご案内

森林公園・昆虫館

“どんぐりを拾って森林公園に集まろう!” みどりの里親大募集

10月14日(日)・11月3日(祝)・11月4日(日)

市民参加の森林づくりを推進するため、「みどりの里親」事業を行っています。この事業は子供たちが自分でどんぐりを拾い、家庭に持ち帰って苗を育て、再びこの苗を山に植えるまでの作業を支援するものです。

今年は、どんぐりの実がなる時期に、森林公園で「みどりの里親」登録を行います。近くの森で拾ったどんぐりを持ち寄って森林公園に集まりましょう。(森林公園にも、たくさんのどんぐりがあります。)

☎森林整備部森林整備課(☎899-1005)



みどりの里親によるどんぐりの植樹

企画展示「水辺の昆虫:未来に残したい身近な自然」

7月1日(日)~10月30日(火)

ゲンゴロウ、タガメなど、見ることの少なくなった水生昆虫やトンボ類など水辺を生息域とする昆虫の生態を、標本・写真などで紹介します。



水生昆虫 ゲンゴロウ

昆虫教室

- 7/22(日) 夏の虫の観察
- 7/29(日) カブトムシの飼い方
- 8/ 5(日) クワガタムシの飼い方
- 8/12(日) クワガタムシの標本作り
- 8/19(日) トンボ・セミの標本作り
- 8/26(日) カブトムシの標本作り
- 10/14(日) 秋の虫の観察

特別展示「秋の鳴く虫」

9月8日(土)~10月8日(祝)

スズムシやクツワムシに代表されるなじみ深い虫や、近年都市部で増えてきたアオマツムシなど、秋の鳴く虫を間近に見ながら音色を楽しむことができます。



秋の虫 アオマツムシ

☎森林公園(☎899-8241)